

記者発表資料

利根川上流の積雪状況は「少雪」となっています。

利根川水系渇水対策連絡協議会は上流ダム群の貯水状況、積雪状況、降雨状況等について確認するため、分科会を開催しました。

- 開催状況 日時：平成21年3月10日（火）10：30～11：30
場所：さいたま新都心合同庁舎1号館 1階会議室
協議会構成：国土交通省関東地方整備局、経済産業省関東経済産業局、農林水産省関東農政局、東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県、独立行政法人水資源機構
協議会の目的：利根川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。
- 利根川上流ダム群等の現況と今後の対策について

- ①上流ダム群の状況
利根川上流ダム群の貯水量は、1月から3月8日までの平年を上回る降水量と2月14日の高温等による融雪により、平年を大きく上回っています。
- ②水源地域の積雪状況
利根川上流の積雪状況は、12月から2月までの平均気温が東日本で平年を1.5℃上回る等の影響から融雪が一時進み、3月9日までで奈良俣ダム地点の最大積雪深が142cmと平成3年以降2番目に少なく、尾瀬沼地点でも最大積雪深が214cmと昭和29年以降3番目に少ない状況となっています。
- ③今後の対応
利根川上流ダム群は、平年、概ね3月下旬からの融雪を貯留することで満水となりますが、今年は平年より少ない積雪状況から、今後の降雨・降雪状況によっては、平成19年と同様に満水にならない恐れがあります。このため、春以降の本格的な水需要期に備えた水運用を行っていきます。（詳細は、別添資料）

《ダムの貯水状況》

- ・利根川上流8ダム（3月9日0時現在）
貯水量：3億1,339m³、貯水率：68%、平年比：132%
- ・鬼怒川上流3ダム（3月9日0時現在）
貯水量：1億3,043万m³、貯水率：72%、平年比：100%
- ・荒川3ダム（3月9日9時現在）
貯水量：6,259万m³、貯水率：73%、平年比：102%

※ ダムの貯水量及び貯水率の情報を、電話応答サービスにより、リアルタイムに提供しています。どうぞご利用下さい。

- ・利根川上流8ダム 電話番号 027-255-5692
- ・鬼怒川上流3ダム 五十里ダム 電話番号 0288-78-0440
川治ダム 電話番号 0288-78-0908
川俣ダム 電話番号 0288-96-0288
- ・二瀬ダム 電話番号 0494-55-0116

※ ホームページでもダムの情報をお届けしています。
<http://www.ktr.mlit.go.jp/>（首都圏の水資源情報 他）

平成21年3月10日（火）
利根川水系渇水対策連絡協議会
（事務局：関東地方整備局河川部）

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ
神奈川建設記者会、東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、刀水クラブ

問 い 合 わ せ 先			
国土交通省 関東地方整備局 河川部	水 政 調 整 官	渡 邊 (内線)	3 5 1 5
〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1	水 政 課 長	関 根 (内線)	3 5 5 1
さいたま新都心合同庁舎2号館	河 川 環 境 課 長	高 橋 (内線)	3 6 5 1
電話 (代 表) 048-601-3151	河 川 環 境 課 長 補 佐	林 (内線)	3 6 5 2
(水政課夜間直通) 048-600-1334			
(河川環境課夜間直通) 048-600-1336			

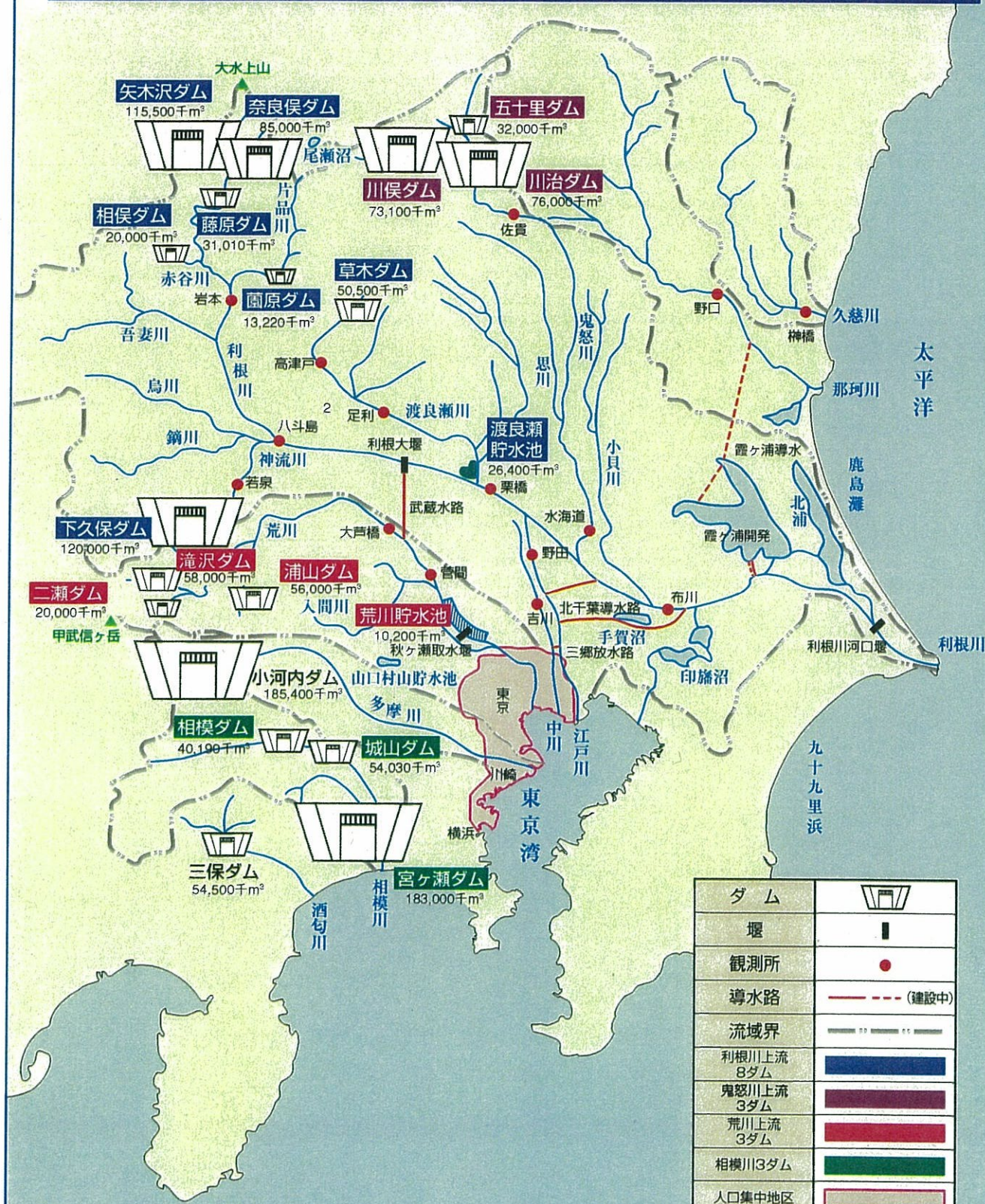
利根川水系渇水対策連絡協議会委員

会 長	国土交通省関東地方整備局長
委 員	国土交通省関東地方整備局副局長
"	国土交通省関東地方整備局河川部長
"	経済産業省関東経済産業局地域経済部長
"	農林水産省関東農政局農村計画部長
"	東京都都市整備局都市づくり政策部長
"	" 建設局河川部長
"	" 水道局総務部長
"	千葉県県土整備部長
"	" 総合企画部長
"	埼玉県県土整備部長
"	" 企画財政部長
"	茨城県土木部長
"	" 企画部長
"	群馬県企画部長
"	" 県土整備部長
"	栃木県県土整備部長
"	独立行政法人水資源機構理事（管理担当）
"	" 管理事業部長

利根川水系渇水対策連絡協議会幹事

幹事長	国土交通省関東地方整備局河川部広域水管理官
幹 事	国土交通省関東地方整備局河川部河川情報管理官
"	国土交通省関東地方整備局河川部水政課長
"	" " 河川計画課長
"	" " 河川環境課長
"	" " 河川管理課長
"	経済産業省関東経済産業局地域経済部地域経済課産業立地室長
"	農林水産省関東農政局農村計画部農村振興課長
"	国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所長
"	" 利根川下流河川事務所長
"	" 江戸川河川事務所長
"	" 霞ヶ浦河川事務所長
"	" 渡良瀬川河川事務所長
"	" 下館河川事務所長
"	" 高崎河川国道事務所長
"	" 利根川ダム統合管理事務所長
"	" 鬼怒川ダム統合管理事務所長
"	" 荒川上流河川事務所長
"	" 京浜河川事務所長
"	東京都建設局河川部計画課長
"	" 都市整備局都市づくり政策部副参事（水資源・建設副産物担当）
"	" 水道局総務部施設計画課長
"	千葉県県土整備部河川環境課長
"	" 総合企画部水政課長
"	埼玉県県土整備部河川砂防課長
"	" 企画財政部土地水政策課長
"	茨城県土木部河川課長
"	" 企画部水・土地計画課長
"	群馬県県土整備部河川課長
"	" 企画部土地・水対策室長
"	栃木県県土整備部河川課長
"	独立行政法人水資源機構管理事業部管理企画課長
"	" 利根導水総合事業所長

関東地方の主要な河川と水資源開発施設



注：ダム名下の添え書きは貯水容量

利根川上流ダム群等の現況と今後の対策について



矢木沢ダム（平成21年3月5日撮影）

平成21年3月10日

関東地方整備局

1. 利根川上流ダム群等の現況

1) 利根川上流8ダムの貯水量は、平年を大きく上回っているものの、少雪の傾向となっている。

- ① 利根川の栗橋上流域の平成20年10月から12月までの3ヶ月累加降水量は198mm（平年比90%）でしたが、平成21年1月から3月8日までの累加降水量は160mm（平年比102%）となっており、1月から3月までの累加降水量の平年値を上回っております。これらの影響と2月14日の高温等による融雪により、利根川上流8ダムの貯水量は、平成21年3月9日0時現在で、3億1,339m³、貯水率68%、平年比132%と平年を上回っています。

表-1 利根川上流8ダムの貯水状況（平成21年3月9日0時現在） 単位：万m³

	矢木沢	奈良俣	藤原	相俣	蘭原	下久保	草木	渡良瀬 貯水池	合計	平年比 (%)	摘要
有効貯水量	11,550	8,500	3,101	2,000	1,322	12,000	5,050	2,640	46,163	—	
貯水量	6,678	6,910	2,651	1,513	1,150	7,330	4,907	0	31,339	23,794	
貯水率(%)	60	81	85	68	87	61	97	0	68	132	

図-1

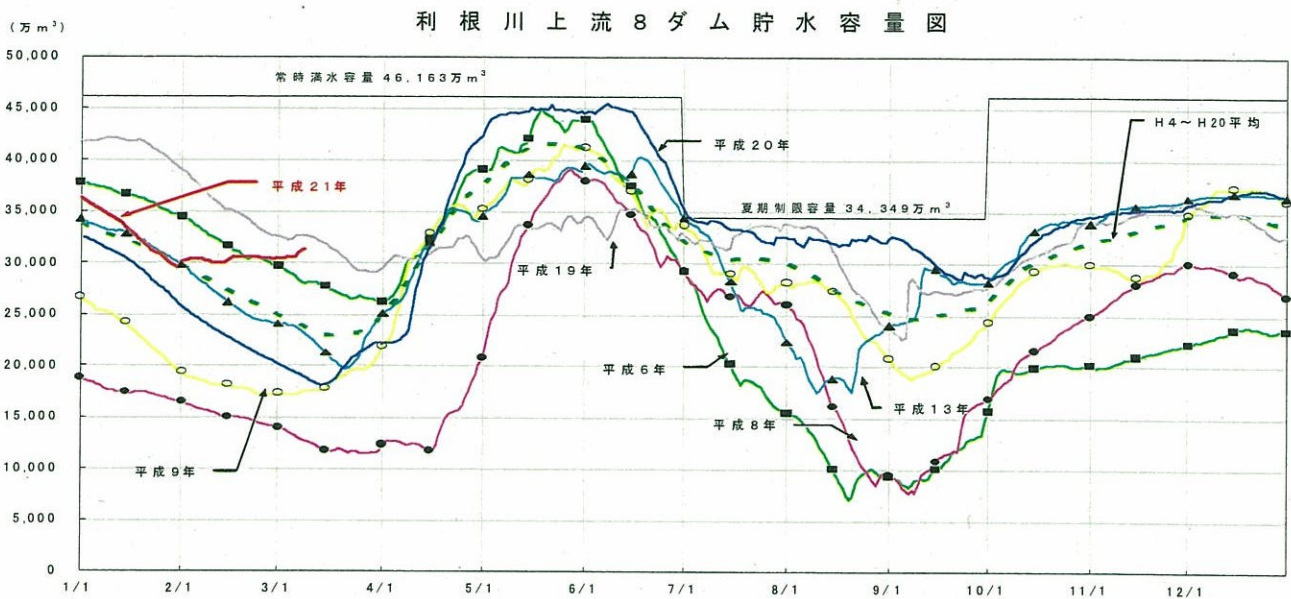


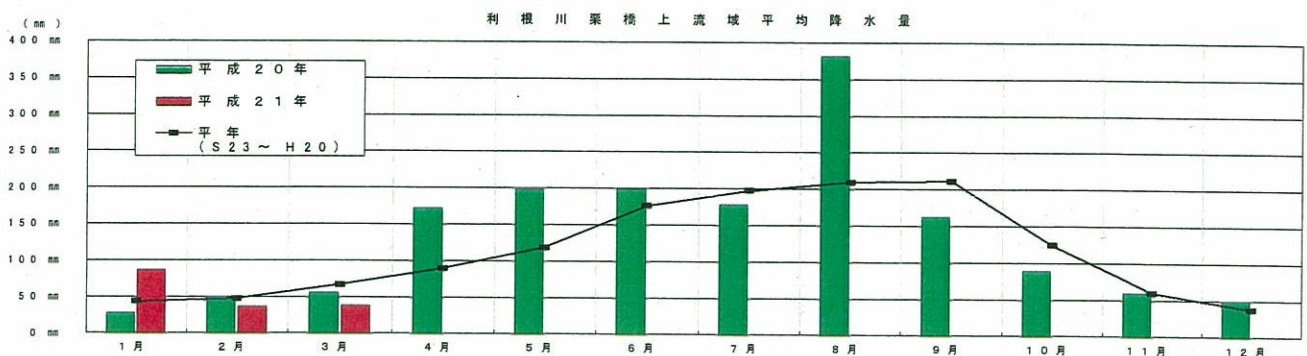
表-2 利根川栗橋上流域平均降水量（平成21年3月8日まで） 単位：mm

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
平成8年	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999	利根川冬夏渇水
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1,222	利根川冬渇水
平成20年	28	50	56	172	198	199	178	382	162	89	59	50	1,623	
平年(S23-H20)	43	47	66	89	118	176	197	209	211	124	59	37	1,376	
平成21年	86	36	38										160	
平年比(%)	200	77	58										12	

※ 利根川取水制限実施月（一時緩和含む）

※ 栗橋上流域面積 8,588km²

図-2



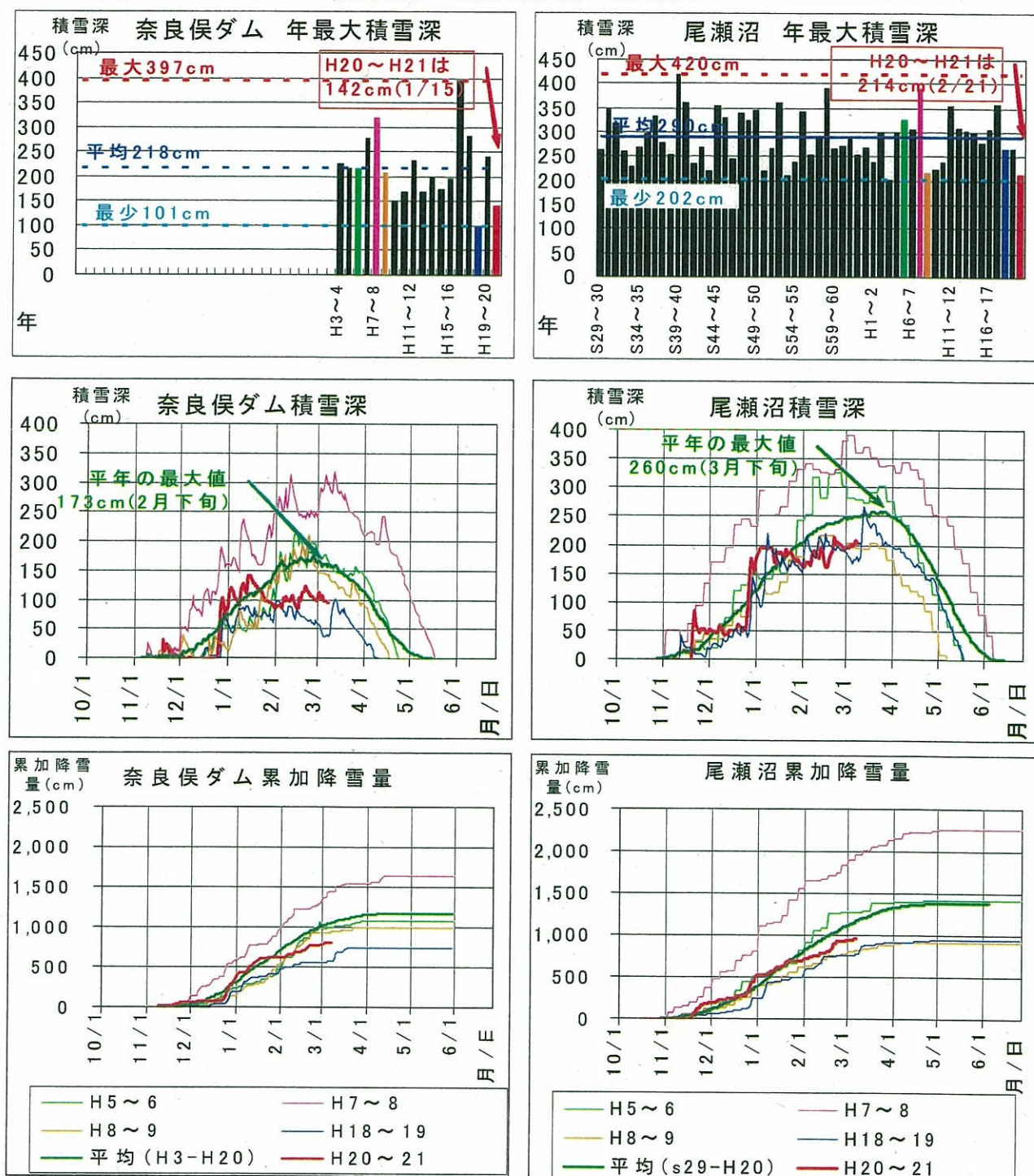
- ② 利根川上流の積雪状況は、12月から2月までの30年間（昭和46年から平成12年）の平均気温が東日本で1.5℃上回る等の影響から融雪が一時進み、3月9日現在までの奈良俣ダム地点の最大積雪深が142cmと平成3年以降で2番目（平成19年は1番目）に少なく、尾瀬沼地点でも最大積雪深が214cmと昭和29年以降で3番目（平成19年は22番目）に少ない状況となっています。

表-3 奈良俣ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深

観測所名	平成21年 3月9日9時	平年※	平年比	H20~21 最大積雪深	平成19年 3月9日9時	H18~19 最大積雪深
奈良俣ダム	95cm	158cm	60%	1月15日142cm	39cm	3月14日101cm
尾瀬沼	204cm	252cm	81%	2月21日214cm	180cm	3月13日266cm

※平年 奈良俣ダムH3~H20、尾瀬沼S29からH20の3月第2半旬末の平均値

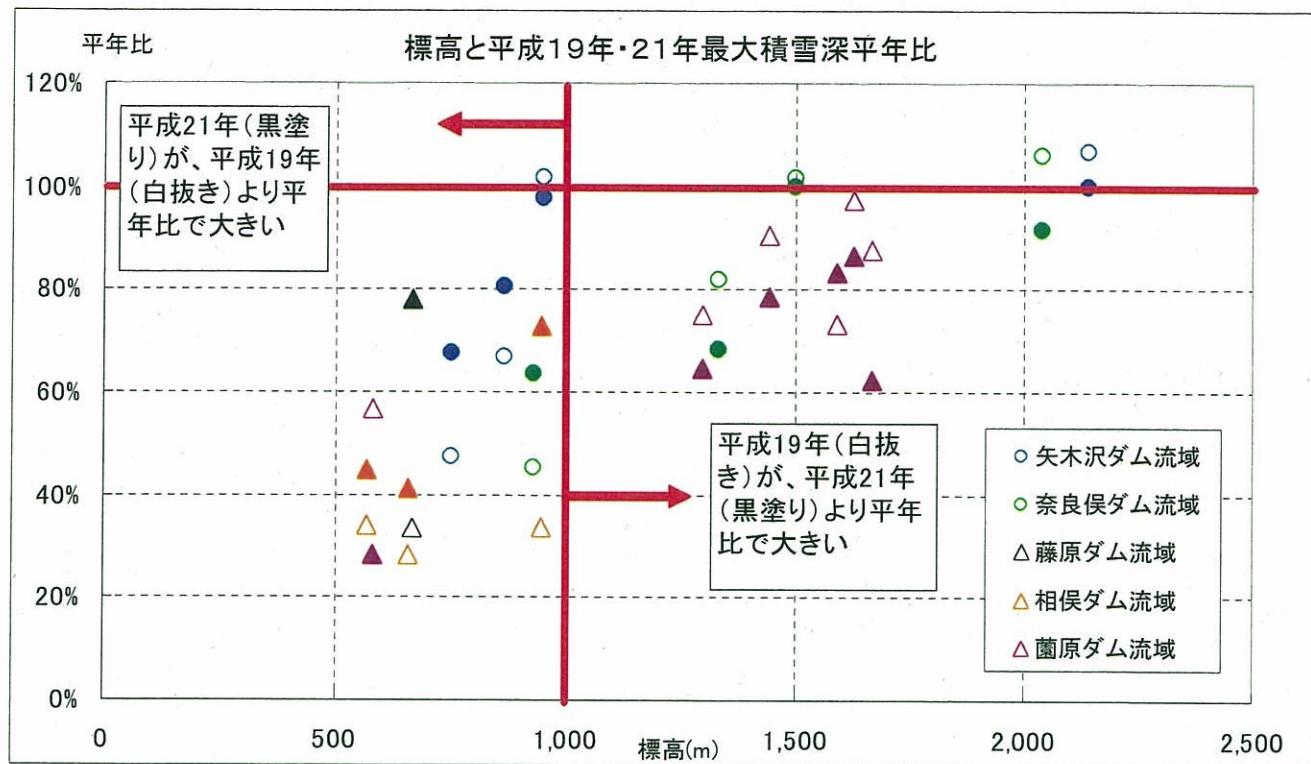
図-3 奈良俣ダム地点及び尾瀬沼地点の年最大積雪深・積雪深図



※過去のデータは半旬末の値

- ③ 各ダム流域にある観測所における今冬（3月6日まで）の積雪状況は、最大積雪深で比較すると、全体的に平年を下回っています。また、標高1,000m以下では平成19年の積雪深を上回るものの、標高1,000m以上では平成19年の積雪深を下回っている状況です。

図－4



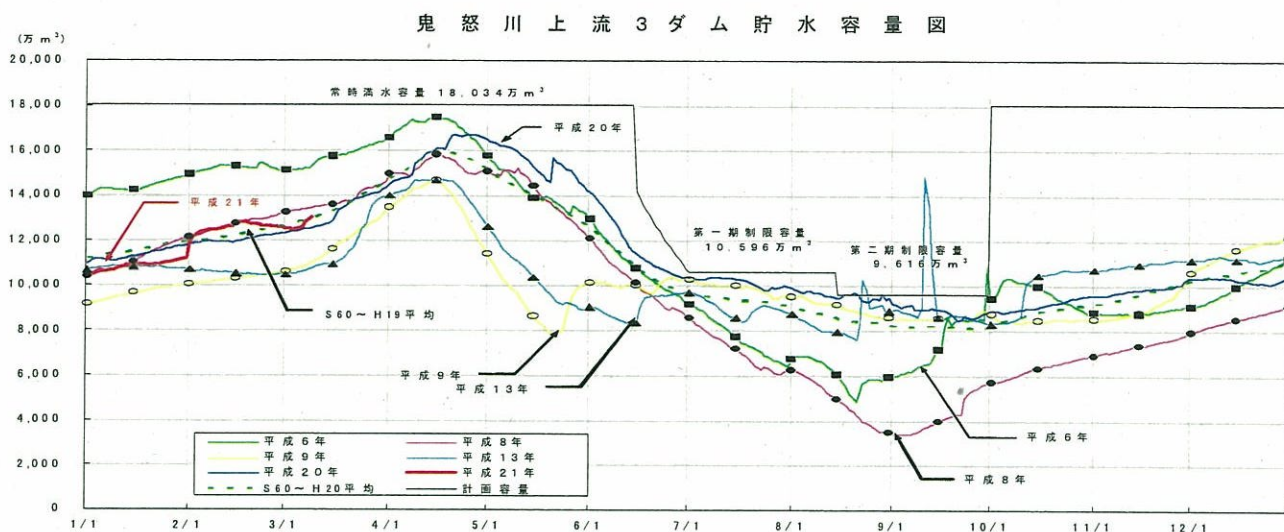
2) 鬼怒川水系と荒川水系のダム群は、平年並みの貯水量となっている。

- ① 鬼怒川上流3ダムにおける平成21年3月9日0時現在の貯水量は、1億3,043万 m^3 で平年比100%と平年並みとなっています。

表-4 鬼怒川上流3ダムの貯水状況(平成21年3月9日0時現在) 単位: 万 m^3

	五十里	川俣	川治	合計	平年比(%)	摘要
有効貯水量	3,123	7,311	7,600	18,034	—	
貯水量	1,831	6,465	4,747	13,043	13,002	
貯水率(%)	59	88	62	72	100	

図-5

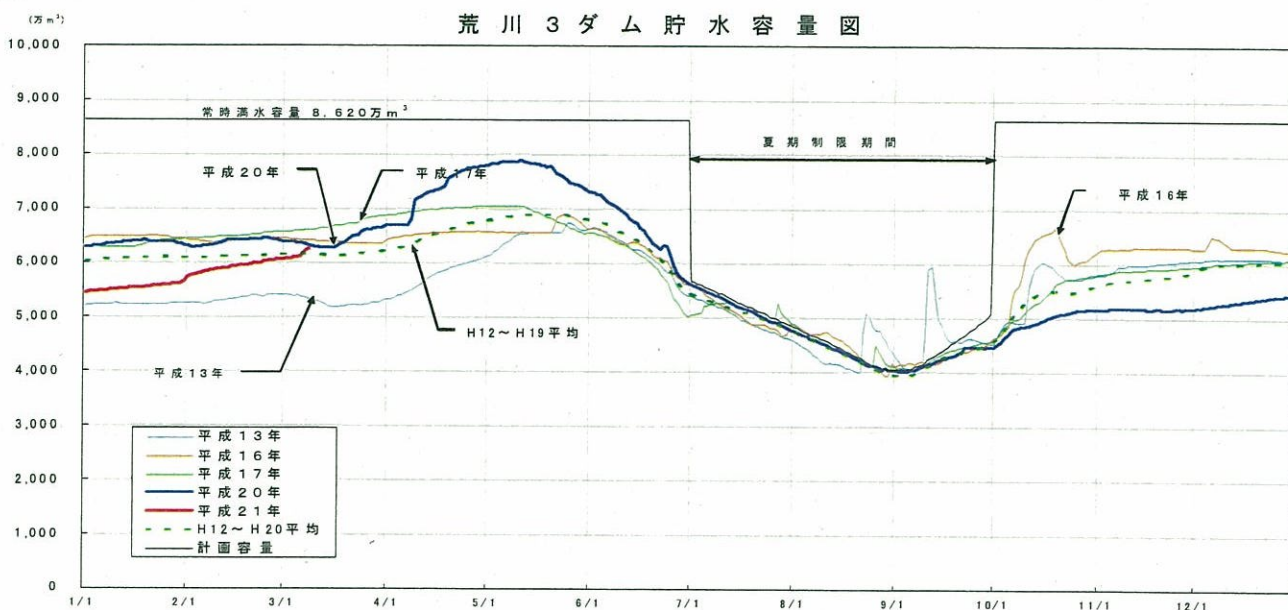


- ② 荒川3ダムにおける平成21年3月9日9時現在の貯水量は、6,259万 m^3 で平年比102%と平年並みとなっています。

表-5 荒川3ダムの貯水状況(平成21年3月9日9時現在) 単位: 万 m^3

	二瀬	荒川 貯水池	浦山	合計	平年比(%)	摘要
有効貯水量	2,000	1,020	5,600	8,620	—	
貯水量	1,426	1,020	3,800	6,259	6,155	
貯水率(%)	72	100	68	73	102	

図-6



2. 今後の見通し及び対策

(1) 見通し

- ①. 平成21年3月6日発表の気象庁の1か月予報によると、3月7日から4月6日の関東甲信地方の降水量については、「多い」となっており、2月25日発表の気象庁の3か月予報によると、降水量は、3月は「平年並か多い」、4月は「少ない」、5月は「平年並」となっています。また、2月25日発表の気象庁の暖候期予報によると、6月から8月の降水量は、「平年並」となっています。

1か月予報（平成21年3月6日発表）

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

【気温】 関東甲信地方	10	40	50
【降水量】 関東甲信地方	30	30	40
【日照時間】 関東甲信地方	40	30	30

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3か月予報（平成21年2月25日発表）

【降水量】

【関東甲信地方】

3か月	30	40	30
3月	20	40	40
4月	40	30	30
5月	30	40	30

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

暖候期予報（平成21年2月25日発表）

<夏(6月～8月)の気温、降水量の各階級の確率(%)>

【気温】 関東甲信地方	20	40	40
【降水量】 関東甲信地方	30	40	30

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

- ②. 利根川上流ダム群は、平年、概ね3月下旬からの融雪を貯留することで満水となりますが、今年は平年より少ない積雪状況から、今後の降雨・降雪状況によっては、平成19年と同様に満水にならない恐れがあります。このため、現在までの1月から3月上旬で降雨や融雪などにより流況が改善された時に貯留を行う運用を行ってきました。
- ③. 鬼怒川水系及び荒川水系のダム群は、平年並みの貯水量を確保しています。

(2) 対策

① [利根川水系における上流ダム群の貯水量の確保]

今後の水運用については、春以降の本格的な水需要期に備えた水運用を行っていきます。

② [利根川水系渇水対策連絡協議会の取り組み]

現在のダム等の供給能力は、首都圏の水需要の大きさに対して十分とはいえない状況にあります。利根川水系渇水対策連絡協議会としては、今後も水資源の有効利用に努めるとともに、取水制限等の渇水対策が必要になった場合には、機動的に対応していきます。